

【褒賞登録申請書・概要書】

事業名称	笑顔あふれる夢への挑戦
申請部門	・ 対外事業部門 ・ 対内事業部門

申請 LOM	(一社) 玉島青年会議所		
LOM 番号	0107	LOM の人数	14 名
理事長名	守永 康彦		
担当者名	浅野 浩輝		
担当者携帯番号 (半角)	080-1913-6967	担当者 E-Mail (半角)	a0712003a@gmail.com

本事業の参加者	会員数	延べ 14 名	会員参加率	100%
	関係者数	60 名	一般参加数	140 名
事業実施に至った背景 200～400 文字程度	<p>スマートフォンやパソコンなどの普及による運動不足、教育環境の変化、都市化と安全の問題などの要因が重なり合い、外で運動をする子どもは減少傾向にあり、子どもの体力低下は顕著な問題となっています。実際にスポーツ庁による小学校児童の体力テストの令和 5 年度調査結果では、平成 20 年度と比較し多くの項目で数値が低下しています。体力低下は健康問題だけでなく、心理的な問題や社会的なスキルの発達にも影響を与えるため解決が求められています。</p>			
事業の目的 200～400 文字程度	<p>(対外) プロ野球選手の川崎宗則氏を講師として招聘し「夢への挑戦」をテーマにしたトークショーを行います。またグラウンド内での直接指導を通して子どもたちの心身の育成向上に繋がる内容を企画し実施することにより、玉島青年会議所を PR することを目的とします。</p> <p>(対内) 経験の浅いメンバーが多い中で、事業構築から設営までの学びを得ること、地域の方と触れ合うことで地域貢献の意識を向上させることを目的とします。</p> <p>普段参加率が低調なメンバーの呼び起こしについても目的とする。</p>			
事業の概要 200～400 文字程度	<p>【直接指導】 参加申込者で事前に抽選を行い、中学生 30 名、小学 6 年生 10 名を対象に川崎宗則さんから実際に直接指導をしていただきました。</p> <p>安全面を考慮し、保護者のみグラウンド内での見学および写真撮影を許可いたしました。</p> <p>また、雨天時の対応として体育館内で軟式球を使用した野球教室への変更も考慮しておりました。</p>			

	<p>【トークショー】</p> <p>「夢への挑戦」をテーマに司会者とのトークショーという形で実施いたします。司会者は倉敷ピーチジャックスレディースの中山あずさ選手へ依頼いたしました。</p> <p>積極的にメディアや SNS を活用して当該事業について情報発信するとともに各中学校、小学校のチームへは Instagram の DM や電話で責任者へアプローチを行い、玉島テレビ放送にて事業の PR 映像を放映していただきました。</p>	
開催時期・	2024 年 11 月 23 日（土）	
タイムスケジュール	11:00～15:55	
開催場所	作陽学園高等学校グラウンドおよび体育館	
事業区分 新規・継続	新規	
公益・共益区分	公益事業	
事業総予算・収支 200～400 文字程度	予算上の工夫と、予算の内訳の概算を記述してください。	
	<p>事業総予算:1,150,000 円</p> <p>収入:1,260,100 円</p> <p>内訳: 100 円(寄付金収益)</p> <p>450,000 円(販売収益)</p> <p>50,000 円(事業繰入金)</p> <p>760,000 円(雑収益)協賛金</p> <p>支出:1,120,054 円</p> <p>収益: 140,046 円</p> <p>講演料など講師に支払う報酬のみで 950,000 円程度費用が発生しており、これまで当 LOM で実施したことのない事業規模となりました。そのため一般参加者の集客が予定数を下回ることも懸念されました。</p> <p>当日は地域のテレビや新聞社のメディア取材を予定しており企業 PR に繋がることや川崎氏のサイン色紙を配布することを特典とし協賛金を募ることで、事業赤字が出ないよう工夫いたしました。</p>	
協力団体	共催	
	協賛	公益社団法人玉島法人会、地元企業 66 社
	後援	倉敷市、倉敷市教育委員会、浅口市、浅口市教育委員会
	その他	
事業対象者	玉島 JC メンバー、玉島・浅口・船穂・真備地区の一般の方	
行動(ACTION TAKEN)	事業の調査、立案、会議の流れ、実施活動について記入	

200～400 文字程度	<p>7 月 29 日 第 11 回正副理事長会議</p> <p>8 月 5 日 第 12 回理事会(協議)</p> <p>8 月 14 日 委員会</p> <p>9 月 3 日 マネージャーとの打ち合わせ</p> <p>9 月 17 日 委員会</p> <p>9 月 30 日 第 13 回正副理事長会議</p> <p>10 月 7 日 第 14 回理事会</p> <p>10 月 16 日 委員会</p> <p>10 月 28 日 第 14 回正副理事長会議</p> <p>10 月 31 日 OB への協賛依頼</p> <p>11 月 5 日 第 15 回理事会</p> <p>11 月 14 日 第 16 回臨時理事会</p> <p>11 月 16 日 案内状発送</p> <p>作陽学園高等学校打ち合わせ</p> <p>11 月 18 日 マネージャーとの打ち合わせ</p> <p>11 月 22 日 前日打ち合わせ</p> <p>11 月 23 日 事業実施</p>
結果 (RESULT)	<p>複数の短い文章になるように下記項目毎に簡潔に記載</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目的がどのくらい達成できたか 2. 上記の結果の想定外の結果 3. 上記の結果の確認方法 4. 検証結果
200～400 文字程度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 100%達成できました。 2. 「JC のことを知っていますか」の質問への回答で知っている 50%、今日知った 50%となっていた。自由記述欄では今後もスポーツ事業を実施してほしいとの回答が複数見られました。 3. 会場壁面へ二次元コードを貼り付け、事業実施後にアンケートを実施いたしました。 4. 2 のアンケート結果から玉島青年会議所の PR が出来たと考えております。また、当該事業に参画することでメンバーが事業構築から設営までの学びを得ることができ、地域の方と触れ合うことで地域貢献の意識を向上させることができました。
地域社会への影響	<p>この事業が与えた地域社会への影響を記入</p>
200～400 文字程度	<p>本事業では青年会議所、学校、地域企業、地域住民が一体となってスポーツを通じて交流する機会を創出いたしました。</p> <p>参加者へのアンケートでは「夢へ挑戦したいと思った」の回答が 95%となっており、子どもの心の変化を促すことができました。</p> <p>また、子どもたちは異なるチームの人々と練習をする中で、しっかりとコミュニケーションを取り協力することにより、将来的にコミュニティ内で円滑な人間関係を築く力を培うことができたと考えます。</p>

LOM への影響 200～400 文字程度	この事業が LOM に与えた影響を記入
	<p>本年度のスタートは会員数が過去最少のスタートとなりましたが、小規模 LOM でも地域企業や団体と連携を図り、予算面での工夫を行うことで、地域にインパクトが残せる事業が構築できると気付かせる効果がありました。また、来場いただいた地域の方々からこれまでになかった取り組みであり多くの感謝の言葉をいただくことで、参加したメンバーが JC 活動に対してポジティブになるという効果がありました。</p> <p>参加率が低調なメンバーについても自身のできること、短時間でも参加できるタイミングには設営に係る等の当事者意識が芽生えました。</p>
事業の長期的な影響 200～400 文字程度	この事業の期待される長期的な影響を記入
	<p>SNS の発信や地域のテレビで紹介されたことで LOM のブランディングに繋がりました。また地域企業のロゴを掲載した横断幕をテレビ放送することで参加者のみならず、地域の方々に各企業を知っていただくことができました。参加者からも感謝の言葉も多くいただき、参加メンバーの参画意識の向上や大型の事業構築手法について学びを得た結果、今後の LOM 運営や事業構築をし易くする効果が期待されます。協賛や広告いただいた企業様との関係性が強化され、今後も互いに協力し合い地域を盛り上げていくことができる土台作りができました。</p>
考察や推奨 200～400 文字程度	検証を踏まえた次の行動を記入
	<p>参加者からは同様のスポーツ事業を継続的に実施して欲しいとの声が多数ありました。玉島地域では周辺の地域と比べ、子どもの数が減少しておらずニーズもあることから青少年育成の事業を実施することでまちを盛り上げる効果が高いと考えます。本事業では「野球」というスポーツに限定された可能性が否めないため、健康増進のための「運動」をテーマにした事業構築を検討してください。事業日には対象学生の大会日程が被っていない日を選定していたが、大会がないからこそ練習試合や休養日としてチーム内での家族旅行企画があり、事業に参加しなかったが先約があるため参加できなかったとの声がありました。事業告知の前倒しが重要であったと考えました。</p>
改善点 200～400 文字程度	どのような改善点がありますか？
	<p>講師の来場が時間ギリギリとなったことで打ち合わせの時間が十分に確保出来ませんでした。外部講師を招聘して事業を実施する場合は、打ち合わせ時間を考慮したスケジュール管理を行う必要がありました。</p> <p>また、当初参加者を 400 名見積もっておりましたが、半数の 200 名の動員となりました。事業規模が大きくなる場合は参加対象者を絞らず幅広い世代や分野からの参加者を募る必要がありました。</p> <p>上記考察にもあるように大会空き日の確認だけではなく、対象者には早めの事業告知を行い、予定確保いただける準備が必須であったと感じています。</p>
その他	その他のアピールや補足があれば記入

200～400 文字程度	地域の参加者に楽しんでもらうだけではなく、講師の川崎氏及びスタッフの方、玉島 JC メンバーにも楽しんでもらい、参加者全員で盛り上げるために、JC メンバーはムネブラック（川崎氏デザインの防眩ステッカー）を着用してお出迎えを行いました。また、サイン抽選会では参加者の座席裏にムネブラックを入れた封筒を貼り付けており、全員に座席裏を確認していただくアトラクションを行い、盛大に盛り上がりました。川崎氏からも、多くのイベントに参加してきたが上記 2 点の取組は初めてであったため、とても驚き、楽しかったとの言葉をいただきました。今後自身の企画するイベントにも取り入れてみたいとマネージャーと話をされていました。
当日のストーリー写真 (PDF)	<ul style="list-style-type: none"> ・添付書類は 1 ファイルにつき A4 用紙で 2 枚以内（1 枚につき添付できる写真は 6 枚までとします。）で作成してください。 ・作成後 PDF 形式に変換して提出してください。 ・別途、事業に関する代表的な写真を 2 枚 JPEG データーでも提出してください。（PDF 資料と同じものでもかまいません） ・著作権及び肖像権を侵害する形での画像の使用は禁止します。
メディア掲載写真 (PDF)	
その他参考資料 (PDF)	
著作権及び肖像権	権利侵害が無い事を確認したらチェックをしてください。☑